

# 大桑 第25号 無所属 まさたか



## サラリーマンから<sup>しせい</sup>市政にチャレンジ！

私たち市民が政治に参加する流れを作ります！

栄区から、しがらみのない政治を実現します！

市議員2年目  
よろしくお願ひします！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

### 公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます(情報公開)。
- 2、大桑まさたかの政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくりまします(しがらみをなくす)。

### 27. 29%減！！！！

平成16年10月1日から栄区を含む6区でゴミの分別回収拡大が始まりました！  
今回はその状況をお伝えしたいと思います。

分別収集の拡大が始まる前の月(9月)の栄区の家ごみの1日平均が95.40t  
でした。それに対し、分別収集が始まってから(10月の3週間)の1日平均が69.37t  
となり、1日に出る栄区の家ごみが9月より約26.03t減少しました。

割合であらわすと、栄区では約3割(27.29%)家ごみが減ったこととなります。

正確に言えば、家ごみからプラスチック容器や古紙・古布が分別されただけで  
ごみの総量が減ったとは言えないかも知れません。しかし、プラスチック容器や古紙・  
古布などは回収後リサイクルされますので、そのままごみとして捨てていた頃より  
燃やしてしまうごみの量が減っているのは間違いありません！

今後も引き続きのご協力をお願い致します(私もしっかり分別しています)。

## 大桑新聞

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

### 第25号(12月号)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL&FAX : 045-892-5187

携帯電話 : 070-6511-1295

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~m-okuwa/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

2003年4月 横浜市議員 初当選

若者政治家養成塾在籍(第1期生)

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻(私の実家では飼い猫のママが妻の実家では

飼い犬のドングリがのんびり暮らしています)

### ボランティア大募集！ TEL&FAX:045-892-5187

大桑と一緒に、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

## 10月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成16年度10月現在の政務調査費累計残高は **227,329円**です。

今回の使用金の内訳

郵便代	0円	新聞代	18,780円
大桑新聞印刷代等	192,461円	文具費等	6,563円
勉強会代	13,110円	書籍代	0円
通信費	23,875円	事務所費等	99,021円
交通費	42,680円	道路使用料(10月分)	4,000円

10月の支出合計は  
**400,490円**です。

### 近況報告

早いもので今年ももう最後の月(12月)がきてしまいました。  
今年も一年間、駅前等でお騒がせをしました。ありがとうございましたm(\_\_)m  
来年も大桑新聞を駅前や自転車に乗り配り続けます(皆さんの前に姿を見せ続けます。)見かけた時には、是非、お気軽にお声がけ(ご相談)下さい!!!  
残念ながら、市議員だからといってなんでも出来るわけではありません。  
しかし、数は少ないかもしれませんが、市議員だから出来ることもあります。  
その時は、全力で頑張りますので、よろしくお願ひします!  
それから、今年最後の議会が12月9日から始まります(最終日は22日です)。  
よろしければ傍聴しに来て下さい。お待ちしております!!!

### まちづくり

横浜市は、現在、「地域まちづくり推進条例」(仮称)の制定に向け動いています。  
今でも地区計画や建築協定があり、私達、市民の考えを取り入れてまちづくりをすることはできました。とはいえ、まだまだ市民から分かりにくい面もあります。また、まちづくりに対する市民の役割がはっきりせず、総合的なまちづくり(公園の整備や建物の色・防災活動など)が出来るようにはなっていません。  
そこで横浜市は市民がもっと積極的に、そして責任を持ってまちづくりに参加できるようにと新たに条例を作ろうとしています。これは「自分たちの住んでいるまちは自分たちの手で守ろう」、もしくはもっと積極的に「自分たちのまちを自分たちにとって住みやすいように作ろう」という住民の意志をまちづくりに反映させようというものです。  
横浜市(中田市長)はそれを『市民と市の協働によるまちづくり』と呼んでいます。  
しかし、このまちづくり条例も私たち市民が自分たちの住んでいるまちのことをよく考え主体的に動かない限りまちに規制をかけることは出来ません。  
少し乱暴な言い方になってしまいますが、開発が決まってからでは開発を止めることは(なかなか)出来ません。乱開発をさせないためには自分たちの住んでいるまちに(開発される前に)自分達の意志でルールを作るしか方法はありません。  
開発が始まる前にまちのルールを作り、私たちのまちは私たちの手で守りましょう!

### 子供が・・・。

9月頃、妻を(体調が悪い時期が続いたので)病院に連れて行ったところ、妊娠していることが分かり、12月(大桑新聞25号を配るころ)で妊娠5ヶ月目(安定期)に入ることから、今回、ご報告させて頂きました!!!  
最近の妻はツワリも治まり、食欲がでてきたようで、なんでもよく食べます。  
今までのツワリが嘘のような回復ぶりです。また、妻は妊娠して自由に動けなくなつてから、しきりに妻の実家で飼っている愛犬のドングリに会いたがっています。